

撮影したドローン映像・写真の自動整理や3Dモデル化を通じて、現場に行かなくても港湾施設の外觀・形状等を確認したい！

課題



- 港湾施設等を撮影した写真・動画を、全職員が閲覧でき、場所や日時などで検索できるようにしたい
- 撮影した写真・動画を3Dモデル化して、現場に行かずとも、何時でも何処でも、あらゆる方向から施設の形状等を確認できるようにしたい

背景

【東京みなとDX】

- 職員の業務改善を主目的として、東京港内で保有する施設情報や点検情報などを電子地図上に一元化させるとともに、検索可能な新システムの構築を進めている。
- 現在、点検時に撮影した写真・動画は、各課個別のファイルサーバーに保存されており、課内の利用に限定されているが、今後は、課を横断して、全職員が閲覧できるようにしていきたい。

【データ保管方法】

- 撮影場所や日時、施設名などに関して、統一的な保存ルールが定まっていないため、過去の写真・動画を再利用されることが無い状況。
- このため、災害発生時にも、発生前と後の写真による被害状況の把握が困難な状況。

【3Dモデル】

- 港湾施設の外觀・形状等を確認したい場合、写真や動画に映っていない所の確認は、必要の都度、現場に行き確認している状況。
- トンネル内（車が通行しているので人が立ち入れない場所等）の確認など、現場確認が容易に行えない箇所も多い状況。

現場情報

※ 現場への直接のご連絡は行わないでください。

港湾局港湾整備部技術管理課
東京みなとDX担当

東京みなとDXシステムの検討・構築